

『議題についての意見』

今後、日本の繊維産業を発展させ、世界の市場においても経済的な成果を残す為にはクリエイターの育成と産地の存続とそこで働く職人の育成を同時に進める必要があると考えます。

クリエイター、デザイナーについては
金銭的な支援や懸賞的な支援の必要性はないと考えます。
優秀なクリエイターは国の支援なくとも必ず世界に通じるからです。

産地の工場については
日本のアパレルやデザイナーとの結びつきと
その際の適正な商売ができるための支援と教育が必要だと思います。
工場の経営は旧態然としているところもあり
利益の確保が不安定な運営をしていることで
工場の継続性や後継者の育成ができていない会社も見受けられます。

経済産業省としてできることは、今回ご参加されている有識者が
クリエイターや工場と定期的に交流できる場をつくり
金銭的支援ではなく発展の為の方法や環境をアドバイスして
今後の繊維産業がより良い環境となる様サポートしていただくことが有効かと考えます。

本日出席できず申し訳ございません。
今は織の工場と長期的な生産計画とその際の運営方法を話に行く為の道中になります。
私たちアパレルと製造現場がより互いの利益と発展の為に協力する関係性を根付かせる為に弊社も努力を重ねたいと思います。

令和 7 年 2 月 27 日
株式会社ミナ デザイナー 皆川明